

日本消防



- 第24回ヨーロッパ青少年消防オリンピック
- ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中！

8
2024

口 絵 第24回ヨーロッパ青少年消防オリンピック
ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 好評放送中！

巻頭言 「えひめ消防の充実強化を目指して」……………	(公財)愛媛県消防協会 会長 大西 浩司 ……	1
消防大学校消防団長科が来訪……………	(公財)日本消防協会・総務省消防庁消防大学校 ……	3
日消の動き 新日本消防会館 完成です。……………	(公財)日本消防協会 会長 秋本 敏文 ……	4
ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介……………	(公財)日本消防協会 ……	8
特別表彰「まとい」を受賞して 「災害に強い町づくり 住民の安全・安心を守る」 ……………	石川県 内灘町消防団 団長 中村 睦 ……	12
東西南北 (山形県) 「町民の安心・安全を守る消防団を目指して」 ……………	真室川町消防団 団長 横瀬 徳雄 ……	14
東西南北 (山梨県) 「安全で安心なまちづくりを目指して」……………	市川三郷町消防団 団長 諏訪 孝吉 ……	16
東西南北 (奈良県) 「地域防災力の充実強化と市民に寄り添う消防団」 ……………	橿原市消防団 団長 村嶋 順一 ……	18
シンフォニー (秋田県) 「未来のために今」……………	湯沢市消防団女性部 部長 今 朋子 ……	20
第30回全国消防操法大会記念Tシャツ……………	(公財)日本消防協会 ……	22
消防団加入促進への取組み 小学生への消防団の活動紹介……………	福岡県 豊前市消防団 ……	23
消防団加入促進への取組み 未来の消防団員へ地域防災教育及び加入促進～子どもたちを中心に～ ……………	兵庫県 福崎町消防団 ……	24
交付車両の活用事例……………	(公財)日本消防協会 福祉部 ……	26
令和6年度消防育英奨学生懇談会を開催……………	(公財)消防育英会 ……	30
第24回ヨーロッパ青少年消防オリンピックに日本代表チームが出場 イタリア共和国 ボルゴ・ヴァルスガーナで開催……………	(公財)日本消防協会 国際部 ……	32
9月1日は防災の日 みんなで防災訓練に参加しましょう！～日頃から災害に備え、防災意識の向上をめざす～ ……………	総務省消防庁 防災課 ……	37
「消防車両等国際援助事業」に係る更新車両提供のお願い……………	(公財)日本消防協会 国際部 ……	38
電気器具等の安全な取扱い……………	総務省消防庁 予防課 ……	40
第72回全国消防技術者会議の開催について(ご案内)……………	総務省消防庁 消防研究センター ……	41
「第29回防災まちづくり大賞」の事例募集……………	総務省消防庁 地域防災室 ……	42
うちの団のPR 「地域防災力の要として」……………	秋田県 湯沢市消防団 ……	43
うちの名物団員……………	秋田県、山梨県、奈良県、愛媛県 ……	44
消防団の広場(鳥取県) 「守り続けて70年」～レガシーを次世代に～ ……………	江府町消防団 団長 遠藤 敏彦 ……	46

編集後記

表紙写真説明

「金峯山寺 蔵王堂(本堂)」

金峯山寺の本堂である国宝・蔵王堂は、2004年に世界遺産の中核資産に登録されてから今年で20周年となりました。

高さ34m、裳階の四方36mの豪壮な建造物で、木造古建築としては東大寺大仏殿に次ぐ大きさを誇っています。

創建以来幾たびも焼失と再建を繰り返し、現在の建物は天正20(1592)年に再建となったものです。

その内部には我が国最大のお厨子があり、秘仏のご本尊金剛蔵王大権現の尊像3体がお祀りされているほか、多くの尊像が安置されています。

写真提供者：金峯山寺

第24回ヨーロッパ青少年消防オリンピック

令和6年7月21日～28日(イタリア)



ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 好評放送中！

(公財)日本消防協会

(7頁～10頁に掲載)



令和6年
5月放送分に出演の
照英さんと
ニッポン放送
ひろたアナウンサー

令和6年
6月放送分に出演の
稲村亜美さん



令和6年
7月放送分に出演の
村田諒太さん

「えひめ消防の充実強化を目指して」

(公財)愛媛県消防協会 会長 大西 浩司



1 愛媛県の概要（令和6年4月1日時点の推計人口1,280,377人、世帯数601,105世帯）

愛媛県は、四国の北西に位置しており、東部の東予、中央部の中予、南西部の南予の3つの地区があり、11市と9町の20市町で構成されています。当協会も、東予支部、中予支部、南予支部の3つの支部で事業を展開しています。また、県内では柑橘類の生産が盛んで、トロンととろけるゼリーのような食感の紅マドンナが贈答品として人気があります。

気候は温暖で、豊かな自然に恵まれています。瀬戸内海に面し、美しい海岸線と大小さまざまな島々を有しており、海の幸も豊富です。食文化は、海の幸を活かした郷土料理が特徴で、特に「鯛めし」は有名です。東予・中予地方の鯛めしは、丸ごと一匹の鯛をごはんと一緒に炊き込むスタイルで、南予地方の鯛めしは、鯛の刺身を独自のタレや卵に漬け込んでごはんにのせるスタイルです。その他にも、じゃこ天や坊っちゃん団子など、愛媛ならではのグルメが楽しめます。

消防組織は、20の消防団と14の消防本部があり、18,890人の消防団員と1,915人の消防職員が在籍しています。（令和5年4月1日時点）

2 消防団員数の動向

愛媛県内の令和5年4月1日時点の消防団員数は、18,890人で、前年に比べ307人減少しており、県内の消防団で団員数が増加しているのは、松山市のみという状況となっています。

また、平成17年に本県の松山市が全国に先駆けて導入した機能別消防団員は、増加傾向

にあるものの、消防団員の全体数は、令和元年度以降で約1,000人の減少となっています。このように、愛媛県でも消防団員をどう確保していくかが大きな課題となっています。

3 消防団員の確保対策

当協会では、これまで「事業所個別訪問事業」や「未来の消防団加入促進事業」を立ち上げ、県内の事業所や中学校、高等学校を消防団員が訪問し、消防団の活動を説明したり、放水のデモンストレーションや応急手当の体験を一緒に行うことで、消防団の活動について理解を深めてもらい、団員確保につながるよう取り組んできました。

また、災害時には、女性と男性が受ける影響の違いなどに十分配慮した対応が必要となります。県内の女性団員の割合は3.4%であることから、更に女性消防団員の確保を進め、消防庁が示している10%を目指すため、昨年2月に日本テレビの「ザ！鉄腕DASH!!」やフジテレビの「ネプリーグ」などのテレビ番組を制作してきたIVSテレビ制作株式会社のプロデューサーを外部講師として招き、これまでと違った切り口で女性消防団員を対象としたワークショップを開催しました。ワークショップでは、「否定しない」「隣の方とおしゃべりをしながら自身の意見をどんどん出す」というルールで、「入団者を増やすにはどうすればいいのか」「退団者を減らすにはどうすればいいのか」について意見を出し合い、その中でなんとかすれば実現可能かもしれない「案」を取りまとめてもらいました。最終的に「体型を隠せる」「アウトドアブランドとコラ



広報力アップワークショップ



松山市消防団女性分団看護チーム活動服

ボした」「カラーバリエーションのある」「シンプルなデザインの」活動服にすれば、女性消防団員が増えるのではないかということになりました。このような固定概念にとらわれない新しい考え方も必要であると思います。団員確保に有効な糸口を見つけるため、今後もこのようなワークショップや研修会に取り組んでいきたいと考えています。

4 消防団の連携強化

愛媛県でも大きな被害が発生した平成30年の西日本豪雨を受けて、愛媛県と県内20市町、4事務組合は、令和2年3月31日に愛媛県消防団広域相互応援協定を結び、東予・中予・南予地区のブロックごとで無線運用や大規模林野火災などを想定した連携訓練を毎年行い、市町の枠組みを越えた消防団同士の「顔が見える関係」を築き、災害対応力を強化しています。

今年の4月17日には、豊後水道を震源とする地震が発生し、南予地区の愛南町では震度6弱を観測しました。この地震と南海トラフ巨大地震との関係性は少ないと言われていますが、今後30年以内に発生する確率は、70%から80%の確率と予測されています。このような迫り来る大規模災害に備えるには、隣接する市町だけでなく、より大きな枠組みで効果的な活動ができる体制を整えることが必要であることから、当協会としましては、地域防災の中核を担う県内の20消防団の力を集結して、より実践的な訓練を繰り返すことで、応援と受援の体制を確立し、オール愛媛の協力体制を更に強化していきたいと考えています。



高校生用広報ポスター

5 おわりに

消防団員の確保については、これまでも様々な取組をしてきましたが、私たち消防団員一人ひとりが誇りをもって活動し、地域の皆様から信頼されることが重要であると思います。

そのためには、地域行事や、小学校、中学校の学校行事に、消防団も積極的に参加し、子供たちに、消防団をより身近なものとして知ってもらい、地元のヒーローだと言ってもらえるように取り組むことが、足がかりになると考えています。

多くの方から入団したいと思ってもらえるような魅力ある消防団を目指して取り組んでいきますので、引き続き皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

消防大学校消防団長科が来訪

(公財) 日本消防協会・総務省消防庁消防大学校

令和6年7月24日(水)、消防大学校消防団長科第85期生30名が日本消防協会を訪問され、同協会の秋本会長は「これからの日本消防—新たな災害環境への対応—」と題して、消防団幹部としてのあり方、各種災害に伴う被害に関する基礎的な情報の把握、防災・減災の基礎的条件整備、消防防災体制の強化について講義をしました。



秋本会長(前列中央)と消防大学校消防団長科第85期生の皆さん



講義の様子

新日本消防会館 完成です。

(公財)日本消防協会 会長 秋本敏文

建設を進めてきました新しい日本消防会館がいよいよ完成しました。ここに至るまで、具体的な建設構想の検討、必要な建設資金の確保などご協力いただきました全国の消防関係の方々をはじめとする本当に多くの方々に深く感謝申し上げます。

そして、この新しい会館は、ご協力いただきました方々への感謝を込めて、日本消防の一層の発展、消防業務の運営を所管する全国市町村の益々の発展に貢献できますよう、その運営についてできる限り努力してまいります。

まず、新しい会館の概要について申し上げます。

新しい会館は、前会館と同じく、東京都港区虎ノ門に所在し、地上14階地下2階、延床面積16,300㎡です。前会館は約12,000㎡でしたが、敷地全体を活用するなど建物の面積は増加しました。その外観は写真の通りです。白色を主体とするシンプルなものです。

屋上には全国消防殉職者慰霊碑を引き続き安置し、1階に日本消防防災情報センター、3～5階に1,000席のニッショーホール、6階から上階は日本消防協会など、消防関係団体が入居します。1階のガラス窓からは情報センターの内部を見ることができ、2階のガラス窓には消防のいろいろな絵、写真を展示しますので、「ああ、これは消防の建物だ」とすぐわかるようにします。

以下、内部について、もう少し説明します。

■ 全国消防殉職者慰霊碑 屋上

前会館からそのまま引き継いだものとしては、屋上に安置した全国消防殉職者慰霊碑があります。笹川良一元会長が筆を揮われた慰霊碑をキッチンと整備して安置しました。エレベーターで屋上まで行っていただければ正面に安置されていますし、そのすぐ傍には休憩所も設けました。ゆっくりお参りしていただくことができます。



銀座線虎ノ門駅方面より



屋上慰霊碑

■ 日本消防防災情報センター 1階

新会館においていただければ、消防関係の方々にも一般の皆さんにも1階の日本消防防災情報センターにスーッと入っていただくことができます。

入っていただきますと、日本消防の沿革、日本消防協会の沿革を示すコーナーがあり、ここでは、前会館が笹川良一元会長によって建設されたものであることを明らかにします。さらに、日本消防の発展に大きな影響を与えた災害の状況を示す大型のデジタルサイネージによる展示、また、全国各地の消防の取り組みや消防防災関係の機器開発の状況などの展示によって、幅広く消防防災関係についてのご認識を深めていただき、消防防災活動の重要性をご理解いただけるように努力をいたします。

開館時の大型デジタルサイネージによる展示では、100年を迎えた関東大震災、30年を迎える阪神淡路大震災をご覧ください。なお、この情報センター内の通り抜けは、地下鉄虎ノ門ヒルズ駅から虎の門病院に行く近道にもなります。また、外の通路から窓ガラス越しに内部の雰囲気をはかることができます。この情報センターは、新会館の目玉となる施設として、地球規模の災害状況の変化などを視野に入れつつ、その使命を果たすため、開館後も継続的に発展させていかなければなりません。

■ ニッショーホール 3階～5階

前会館のホールは742席で、音響など少し十分でない面もありましたが、新会館のホールは1,000席と大きく、音響にも配慮してあります。都心では貴重なホールで消防防災関係はもとより、全国の地方自治関係の集会その他、いろいろな目的で利用していただけるホールです。

また、2階の会議室とうまく組み合わせて活用しますと、さらに一層、多様な活用ができます。楽しんでいただけたと思います。



ホールステージ



ホール客席

■ 会議室 2階 6階

2階は、最大180席の利用が可能な会議室と、28席と45席の会議室2室を設けています。それぞれの利用目的に応じてご使用いただいたり、また、ホールとの有機的な連携によるご活用にご配慮いただくなどでお役に立てるでしょう。

なお、外から見やすい2階の窓ガラスには、江戸時代以来の日本消防の歴史をご覧いただける絵や写真を展示します。1階の日本消防防災情報センターの窓ガラスと合わせてこの会館が消防のものだということがすぐわかるようにします。

■ 消防関係団体事務室 6階～12階

6階から上階に、これまでとほぼ同様、殆どどの消防関係団体に入居していただきます。

新会館では、新たに全国消防長会にも入居していただきますので、オール消防のセンター施設と申し上げてもよいくらいかなと思います。消防関係団体が一層連携を密にし、日本消防全体の一層の発展に寄与することができる拠点とするよう努力しなければなりません。

■ 消防人 たまり場 6階

全国各地から上京して日本消防会館をお訪ねいただいて、もう少し時間があるなという時に休憩所としてご使用いただき、その時同席される方がおられたら、災害体験などをご自由に語り合うことができるスペースとして、6階に「消防人 たまり場」を設けます。あまり大きなスペースではありませんが、仲良く語り合っていいただければ幸いです。

■ その他の展示 1 階外壁等

東日本大震災で多数の方々が殉職されたとき、天皇皇后両陛下のご臨席もいただいて慰霊祭を執り行いましたが、その日に合わせて東日本大震災の時の消防活動の様子を示すレリーフを製作し、外壁に掲げました。そのレリーフは、新会館にも掲げます。



東日本大震災レリーフ

前会館では、赤穂義士が討入りを果たした後、大目付仙石伯耆守の屋敷に自訴した時使用したという「洗足の井戸」を設けていましたが、新館ではそのスペースがありませんので、赤穂義士討入りのレリーフ、消防装束で引き上げる様子まで示したものを外壁に掲げます。そして、従来同様、12月14日には追善供養を行います。

日本消防の歴史の中で、消防戦術を大きく変えた腕用ポンプは、前会館において展示していましたが、これは新会館においても展示を続けます。やはり日本消防の発展の歴史を示すものとして大切にします。

以上、新会館の各部門についてもご説明いたしましたが、最初にも申し上げましたように、この新会館建設は、本当に多くの方々のご協力ご支援によって何とか実現できたものであり、この感謝の気持ちを込めて、新会館の最大限の活用に努力しなければなりません。関係の皆様には、完成後の運営につきましても何かとご指導ご協力いただきますよう、心からお願い申し上げます。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。



赤穂義士レリーフ



腕用ポンプ

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

(公財)日本消防協会

日本消防協会では、芸能界、スポーツ界等の著名な方々により結成された「消防応援団」のご協力を得て、全国各地で頑張っている消防団員にエールを送るとともに、一般の方々にも消防団活動等について理解を深めてもらうため、消防団に関するラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」を放送しています。

今回は、令和6年5月から令和6年7月までに放送した出演者を紹介します。

なお、放送した番組は、日本消防協会のホームページで聴くことができます。



令和6年5月放送分に
出演の消防応援団
照英さん

5月4日又は5日放送



宮崎県
都城市消防団
団員
阪本 梨華さん

この度は貴重な機会を頂きありがとうございました。
とても緊張しましたが、全国の消防団員の皆様に都城市消防団の活動をご紹介することができて嬉しいです。

また、様々な方に消防団について少しでも興味を持って頂くきっかけになれば幸いです。

5月11日又は12日放送



北海道
小樽市消防団
団員
濱川 貴行さん

この度は貴重な機会をいただきありがとうございました。
はじめは緊張しましたが、照英さんのおかげで緊張が解れ、楽しく収録できました。

これからも普段の消防団活動はもちろん、子どもたちに消防団を知ってもらえるように広報活動も全力で頑張ります！

5月18日又は19日放送



富山県
黒部市消防団（女性分団）
分団長
村田 あゆみさん

収録前、照英さんとひろたアナウンサーに、ホテルイカの身投げなどの富山ネタの雑談で緊張をほぐしていただきました。
おかげさまで、楽しくお話しできました。本当にありがとうございました。

5月25日又は26日放送



愛媛県
今治市消防団
分団長
野間 寛紀さん

この度は、ラジオ出演という貴重な体験をさせていただきまして誠にありがとうございました。照英さん、ひろたアナウンサーお二人と色々お話ができて大変良かったです。

今後ともより一層気を引き締めて消防団活動に従事させていただきますと思います。



令和6年6月放送分に
出演の消防応援団
稲村亜美さん

6月1日又は2日放送



静岡県
清水町消防団
副分団長
木村 寛治さん

消防団に所属して12年目になりますが、このような機会をいただきましてありがとうございました。
ラジオ出演する機会は初めてで、また、お相手が稲村亜美さんだったこともあって緊張しましたが、とても話しやすい環境を作ってくれてありがたかったです。

6月8日又は9日放送



京都府
久御山町消防団
団員
南 睦実さん

今回このような機会をいただき、改めて災害が起こった際に消防団員としてできることや、また起こりうることを予測した上で今できることを考えるきっかけになりました。
小さなことから少しずつ行動に移していきたいと思います！日本全国の消防団員の皆様、共に頑張りましょう！

6月15日又は16日放送



香川県
坂出市消防団
団員
齋藤 卓哉さん

この度は、ラジオ番組出演という貴重な機会をいただきありがとうございました。
まだまだ経験が浅く、学ばべきことがたくさんありますが、今後も地域のためにしっかりと活動に邁進していきたいと思えます。

6月22日又は23日放送



埼玉県
越谷市消防団
団員
高村 隆一郎さん

この度はラジオ番組に出演させて頂きありがとうございました。タレントの稲村亜美さんとは、また機会があれば、お話を交わしてみたいと思いました。
ラジオ番組出演という体験をさせて頂いた関係者の皆様には感謝申し上げます。一生の思い出になりました。

6月29日又は30日放送



宮城県
白石市消防団
団長
我妻 一雄さん

この度は稲村さん対談させていただき、白石市消防団を多くの方々に紹介することができ嬉しく思っております。
今後とも団員一丸となって消防・防災に努め、地域の方々の生命と財産を守るよう尽力いたしますので、応援よろしく願いたします。



令和6年7月放送分に
出演の消防応援団
村田諒太さん

7月6日又は7日放送



千葉県
浦安市消防団
団員
吉野 万利沙さん

この度は、浦安市消防団を紹介する機会をくださりありがとうございました。緊張しましたが皆さんとても優しく、楽しくお話できました。

今回のお話を通して、色々な世代の皆様に消防団の活動や魅力を知っていただき、興味を持っていただけたら幸いです。

7月13日又は14日放送



和歌山県
紀の川市消防団
団長
金谷 好昭さん

この度は貴重な機会を頂き有難うございました。紀の川市消防団の活動内容を発表させて頂きましたが、まだまだ全国には地域の特性にあったユニークな活動をされている消防団があると思います。

是非ともこの機会に教えて頂きたいと思います。有難うございました。

7月20日又は21日放送



秋田県
大仙市消防団
団員
今野 ひろみさん

今回は、大仙市消防団の活動を多くの方々に紹介する機会をいただき、ありがとうございました。

放送を通じてたくさんの方に私たちの活動を知ってもらい、関心を持っていただけたら光栄です。

7月27日又は28日放送



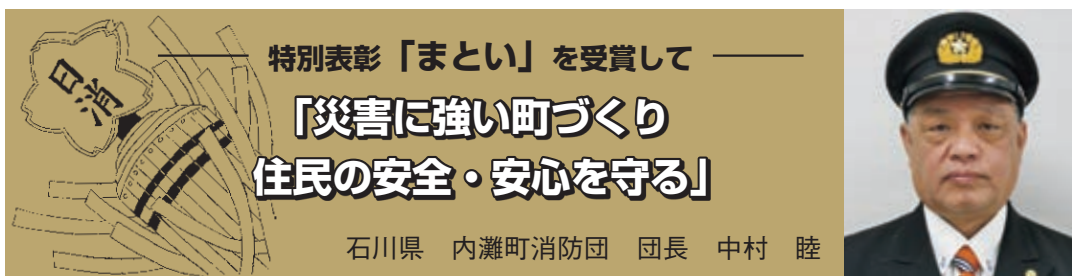
三重県
鈴鹿市消防団
団員
山本 健司さん

とても緊張しましたが、一人でも多くの市民の方々に陰で防災活動に従事する姿をSNSで知って頂ければと思い出演しました。

この体験を機に、今後も更に訓練、活動を行い、SNSを通じて楽しく、解りやすい情報発信に努めて参ります。貴重な体験ありがとうございました。

「おはよう！ニッポン全国消防団」放送日時

地方	県	放送局	放送日	放送時間	備考
北海道		(株) S T V ラ ジ オ	日	5:50~6:00	
東北	青森	青森放送(株)	日	7:20~7:30	
	岩手	(株) I B C 岩手放送	日	6:15~6:25	
	宮城	東北放送(株)	土	5:00~5:10	
	秋田	(株) 秋田放送	日	6:15~6:25	
	山形	(株) 山形放送	日	6:20~6:30	
	福島	(株) ラ ジ オ 福島	土	5:40~5:50	
	新潟	(株) 新潟放送	日	7:40~7:50	
関東	東京	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	神奈川	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	埼玉	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	群馬	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	千葉	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	茨城	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	栃木	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	山梨	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	長野	信越放送(株)	日	6:50~7:00	
中部	福井	福井放送(株)	日	6:10~6:20	
	石川	北陸放送(株)	日	7:35~7:45	
	富山	北日本放送(株)	日	6:10~6:20	
	三重	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
	愛知	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
	静岡	東海ラジオ放送(株)・ニッポン放送(株)	土・日	5:30~5:40 6:15~6:25	一部地域は東海ラジオ放送
	岐阜	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
近畿	京都	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	大阪	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	兵庫	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	奈良	(株)和歌山放送・大阪放送(株)	土・日	6:30~6:40 6:00~6:10	一部地域は大阪放送
	滋賀	東海ラジオ放送(株)・大阪放送(株)	土・日	5:30~5:40 6:00~6:10	一部地域は東海ラジオ放送
	和歌山	(株) 和歌山放送	土	6:30~6:40	
中国	鳥取	(株) 山陰放送	土	5:30~5:40	
	島根	(株) 山陰放送	土	5:30~5:40	
	岡山	西日本放送(株)・(株)中国放送	土・日	7:35~7:45 5:30~5:40	一部聞きづらい地域があります。 一部地域は中国放送
	広島	(株) 中国放送	日	5:30~5:40	
	山口	(株) 山口放送	土	6:50~7:00	
四国	徳島	四国放送(株)	土	6:40~6:50	
	香川	西日本放送(株)	土	7:35~7:45	
	愛媛	南海放送(株)	日	6:55~7:05	
	高知	(株) 高知放送	日	6:40~6:50	
九州	長崎	長崎放送(株)	土	7:25~7:35	
	福岡	九州朝日放送(株)	日	6:15~6:25	
	大分	(株) 大分放送	日	6:45~6:55	
	佐賀	長崎放送(株)	土	7:25~7:35	
	熊本	(株) 熊本放送	土	6:50~7:00	
	宮崎	(株) 宮崎放送	日	6:20~6:30	
	鹿児島	(株) 南日本放送	土	8:30~8:40	
	沖縄	(株) ラ ジ オ 沖縄	日	6:35~6:45	



1 はじめに

令和6年3月8日に日本消防会館（ニッショーホール）において、「第76回日本消防協会定例表彰式」が開催され、消防団にとって最も栄誉のある特別表彰「まとい」を受賞しました。全国の約2,200ある消防団の中から内灘町消防団がこのような栄誉ある表彰を受賞できたことは、まことに喜ばしいへん名誉であります。

これもひとえに、これまでの礎を築いてくださった諸先輩方はもとより、内灘町民の皆様ならびに消防防災関係者の皆様のご支援とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。団員一同この受賞に慢心することなく、これまで以上に消防戦術の知識・技術の習熟に努め、町民の安全・安心のため、より一層信頼される消防団を目指して参ります。



2 内灘町について

内灘町は、石川県の中央部に位置しており、西に日本海、東に河北潟を擁し、白山・立山連峰を望む光溢れる砂丘のまちです。人口25,882人（令和6年3月末日）の小さな町です。

が、西側に面する内灘海岸は四季を通じ多くの人で賑わい、マリンスポーツの名所として若者達の人気を集めています。また、町のランドマークであるサンセットブリッジ内灘や道の駅内灘サンセットパークからは日本海に沈む美しい夕陽を眺めることができ、内灘海岸とサンセットブリッジ周辺一帯は、『恋人の聖地』として認定されています。

3 内灘町消防団の組織

内灘町消防団は昭和14年4月に内灘村警防団として組織され、昭和22年12月、内灘村消防団に改称、その後、昭和37年1月1日、町制施行に伴い内灘町消防団として現在に至っております。

令和6年4月1日現在で、5分団実員99名（条例定数100名、うち女性消防団員5名、機能別分団員5名）で構成され、消防車両は消防ポンプ自動車4台、多機能型消防車1台、救助用資機材・小型動力ポンプ搭載多機能車1台、指揮広報車1台を配備し、団員一人一人が「自分たちの町は自分たちの手で守る」という強固な郷土愛のもと、町民の皆様に安全・安心を届けられるよう、日々訓練や研修に励んでいます。

4 内灘町消防団の活動

内灘町消防団の活動は、災害発生時における消防活動や警戒といった災害現場での実動をはじめ、ポンプ車操法や消防署との合同火

防災ぎょ訓練、AEDを使用した心肺蘇生法やけが人に対する応急手当など、各種災害に対応するために、年間を通して様々な訓練を実施しています。また、訓練だけでなく課外授業として町内小学校に出向き、防災や減災についての授業を行ったり、夏休みの時期にあわせて消防団体験教室を開催するなど、幼少期から防災や町の消防団に対して関心を持ってもらおうと団員皆で知恵をしぼっています。

令和4年度には、内灘町消防団で初めて女性の消防団員が入団し、町内各地区の防災訓練で消火器による初期消火の重要性を説明したり、保育所の防火指導では紙芝居を使用して火の怖さを児童に伝えるなど、積極的に防火思想の啓発に努めています。



河北郡市消防団連合訓練でのポンプ車操法



消防団体験教室で煙の怖さを説明する女性団員

5 地震への対応

今年、1月1日に能登地方を震源とした最大震度7の揺れを観測する地震が発生しました。これは、石川県では観測史上初めての大

地震であり、能登地方を中心に県内各地に甚大な被害をもたらしました。内灘町においても、液状化に伴う「側方流動」という現象により、建物の倒壊や道路の亀裂・地盤の隆起が至る所で発生し多くの町民が平穏な日常を奪われました。また、今回の地震では津波警報も発表されたことから、消防団員を緊急招集し、とにかく高台へ住民を避難させることに専心しました。警報解除後には被災地域の住民の安否確認、建物や道路の被害状況の把握に努め、余震が落ち着いてからは、支援物資の搬入・搬出や被災建物からの家財搬出なども行い、町の消防団として、この未曾有の災害に対応しました。



被害状況の確認

6 おわりに

今回の地震を経験し、改めて自然災害の脅威を感じるとともに、消防団が果たすべき役割を再認識しました。自然災害は、その発生を未然に防ぐことは困難ですが、被害を減らすという減災に力を注ぐことは可能です。日頃から災害に対する危機意識を地域住民に持ってもらい、自助・共助の精神を育むことが肝要であり、今後も災害に強いまちづくりのため、町民の安全・安心のため、団員一同奮励努力してまいります。

末尾になりますが、今回の特別表彰「まとい」受賞にあたり、格別のご高配を賜りました日本消防協会をはじめ、消防関係各機関の皆様にご心より感謝を申し上げます。



「町民の安心・安全を守る 消防団を目指して」



真室川町消防団 団長 横瀬 徳雄

1 真室川町の紹介

真室川町は山形県の最北部に位置し、秋田県との県境にある人口約6,500人の町です。昭和31年に旧真室川町と安楽城村、及位村が合併して誕生した町です。町の多くを森林が占めていること、また一級河川である鮭川や東西南北に渡って複数の川が流れ込み平野部を形成していることから、昔から農林業を基幹産業としておりました。最近ではその豊かな自然を活かし、原木なめこの生産や、たらの芽やういといった山菜の促成栽培によるブランド化も定着してきました。また、真室川音頭発祥の地として古くから知られており、毎年、真室川音頭全国大会が開催されています。春には、町花の梅の開花に因み、春まつりやマラソン大会が開催され、全国からランナーが出場します。夏祭りでは真室川音頭パレードが彩りを添え、町を広くPRするとともに郷土愛を醸成する機会となっています。その他伝承文化として童歌や祭り囃子、番楽

などが今に受継がれており、四季を通して様々なイベントを開催しています。

2 真室川町消防団の概要

真室川町消防団は、昭和31年の町村合併とともに発足しました。令和6年4月現在は、団長以下330名の8分団10部32班体制で町の安心・安全を守り活動しています。主な装備等については、ポンプ車3台、普通積載車9台、軽自動車積載15台、手引き(可搬)小型動力ポンプ4台、資機材運搬車1台を保有し、火災や自然災害、山岳遭難など有事の際にすぐに出動できるよう日々の訓練に励んでいます。しかし、人口減少や高齢化に伴い団が抱える課題として、日中、町外へ働きに出る団員が多く有事の際になかなか現場に駆けつけることが出来ないことです。そのため町では、平成20年に消防団に加入している町の職員が、火災発生に限り「役場消防隊」として出動する体制を整備し、積載車を1人で運転してきても役場消防



H27 東北水防技術競技大会 シート張り工、月の輪工



H27 東北水防技術競技大会 最優秀賞



R5.9.17 林野火災防ぎょ(遠距離送水放水)



R6.4.28 春季消防演習(分列行進)

隊と連携し消火活動ができるよう取組んでいます。また、女性の視点を消防団活動に活かすため、平成30年7月1日付けで「女性消防隊」を発足させるなど、消防防災力と組織体制の強化を行っています。

3 真室川町消防団の活動

主な活動としては、春季消防演習や消防操法大会の開催、各種火災予防運動週間における警戒、防火キャラバンの実施、ポンプの性能検査、秋に行われる町防災訓練への参加です。また町の防犯協会も消防団が組織しており、火災や災害などのほか防犯も含め町民の安全と安心の保持に努めています。真室川町は秋田県境にある鳥海山の影響で降雨量が多い上、河川が町の中心部を流れています。このようなことを踏まえ、地域の特性に合わせた訓練に力を入れており、その1つが水防の強化です。活動として重要水防箇所の点検や、町の防災訓練では水防工法訓練、排水ポンプ車を活用した訓練を行い、日頃から備えています。その成果として、平成27年には東北水防技術競技大会に山形県代表として出場し、最優秀賞を受賞しています。このことにより技術面の向上だけでなく、消防団全体の士気高揚にも繋がったと感じています。

2つ目に地域特性として山間部がゆえに中継での放水が多いことです。これを

踏まえ、火災対応の点について、令和5年9月17日に山形県・真室川町合同林野火災防ぎょ訓練を実施しました。主会場の秋山から2 km離れた真室川より取水し、消防小型ポンプ等28台中継しホース200本を使用して2線での遠距離送水訓練を行いました。

その他、消防団は自主防災組織と連携して年に1回地域との避難誘導訓練や初期消火訓練を行うほか、各地区のお祭りや安全確保などにも積極的に関わっており、地域に密着した存在となっています。まずは地域を知ることと、自分達の町は自分達を守るといった消防魂を持って活動をしており、その結果として顔の見える活動が、地域防災力の向上に繋がればいいなと考えております。

4 おわりに

真室川町は、昭和50年8月6日に大規模な水害に見舞われており、町中心部が濁流に飲み込まれるという甚大な被害を受けました。来年で50年の節目を迎えるため、これを機に町民の皆さんと地域の災害について一緒に勉強や訓練を行い、多種多様な災害に対応の出来るよう、強い町づくりを目指していきたいと思います。また、真室川町消防団は町民の安心・安全のため、地域に根差し貢献できるよう活動を続けて参ります。



「安全で安心な まちづくりを目指して」



市川三郷町消防団 団長 諏訪 孝吉

1 市川三郷町の紹介

市川三郷町は、2005（平成17）年に旧三珠町、旧市川大門町、旧六郷町の合併により誕生しました。山梨県甲府盆地の南西に位置し、南アルプスを源流とする釜無川と、秩父山系を源流とする笛吹川が合流し富士川となる左岸に位置し、町北部には御坂黒岳を源とする芦川もあり、清流と山々の緑に囲まれた風光明媚な町です。町の総面積は、75.18平方kmで、人口14,570人（令和6年4月1日現在）です。

四季折々の自然が楽しめる富士八海のひとつに数えられる「四尾連湖」。戦国時代より伝わる火薬技術による県下最大級の花火「神明の花火」、かつて「美人の肌のように美しい」という例えから幕府へ献上され肌吉紙と呼ばれた和紙産業、歌舞伎初代市川團十郎の曾祖父・堀越十郎家宣、祖父・堀越重右衛門が居を構え市川團十郎発祥の地としての歴史、生産量日本一の印章、シャインマスカットなど「葡萄」や「桃」「大塚にんじん」やとうもろこしの「甘々娘（かんかんむすめ）」に代表される

農産物など、昔からの伝統技術と、それを元に開発された新技術とを融合させながら引き継がれて来た技術及び、自然・歴史・文化が私たちの誇りです。また、観光施設として認知度が高いのは、夜景100選、日本夜景遺産に認定され、温泉総選挙「絶景部門」4年連続日本一となった温泉施設「みたまの湯」があり、地域住民のほか、県内外の観光客にも人気があります。

2 市川三郷町消防団の紹介

2005（平成17）年10月1日に3町の合併により、条例定数512名で発足しました。その後、人口減少や少子高齢化を背景に消防団員の確保が困難になったことを受け、令和6年4月1日現在は、12分団22部条例定数370名で構成しています。

主な消防団装備については、消防ポンプ車7台、小型動力ポンプ付き積載車25台を保有し、火災等の災害に備え、昼夜を問わず、地域住民の安心、安全のため活動に取り組んでいます。



市川三郷町（航空写真）



神明の花火大会



ポンプ操作

3 市川三郷町消防団の活動

市川三郷町消防団は、地震、火災、風水害の災害対応や捜索活動はもちろんのこと、様々な訓練や防火啓発などに取り組んでいます。活動としては、1月の出初式での団長訓示で士気を高めることから新年の活動が始まります。3月に春の火災予防運動、4月に入退団式、8月に「神明の花火」を始めとする夏祭りの花火警備、9月に町総合防災訓練、11月に秋の火災予防運動、年末年始には火災防止の為の夜間警備（夜警）、毎月7日には機械器具点検と災害に備えた各種訓練などを行っています。また、女性消防隊員が10名おり、防火啓発活動を中心に活躍しています。そのほか、定期的に幹部会議を開催しており、幹部間での意思疎通と情報共有を図り、いつ起こるか分からない激甚化する地震や風水害に備えています。

4 おわりに

人口減少や少子高齢化、雇用形態の変化などが重なり、団員一人ひとりにかかる負担は大きくなる一方であり、市川三郷町消防団でも、消防団員の減少や高齢化などの問題を抱えています。

地域防災の要である消防団を維持していくためには、団員の負担軽減を図り、消防団活動の見直しを図るとともに、魅力ある消防団となるよう体制づくりが必要だと感じています。

また、「自らの地域は自らが守る」という精神に基づき、日頃から訓練や研修への参加を通して技能向上に励み、防火啓発活動に注力し、全団員が一丸となって「安全で安心なまちづくり」の為に「地域防災力の要」として精進して参ります。



出初式



「地域防災力の充実強化と 市民に寄り添う消防団」



橿原市消防団 団長 村嶋 順一

1 橿原市の紹介

橿原市は、奈良県のほぼ中央に位置し、東西7.5km、南北8.3kmの広がりを見せ、東は桜井市、西は大和高田市、南は高取町・明日香村・北は田原本町と接しています。面積は39.56km²で全体的に起伏が少なく、市内の中央部には飛鳥川、西には曽我川が流れています。

本市には万葉の時代を偲ばせる大和三山（畝傍山・耳成山・香久山）があり、その中央には約1300年前にわが国初の首都であった藤原宮跡や江戸時代の面影を今も残す今井町、そして畝傍山の麓に50万m²の広大な神域を持ち、毎日多くの参拝者が訪れる橿原神宮などがあります。

2 橿原市消防団の紹介

橿原市消防団は、昭和31年3月8日に発足しました。

令和6年4月1日現在、本団と10ヶ分

団の210名の団員で構成されており、火災出動等の場合は、隣接する2ヶ分団が付加されて出動体制がくまれています。

装備は指揮車1台、消防ポンプ車10台（予備車1台）を配備しています。

3 橿原市消防団の活動

橿原市消防団では、1月に出初式からはじまり、2月には、文化財を火災から守るため、橿原神宮において橿原消防署、橿原神宮職員と合同で、文化財の火災が起こった際の迅速な対応を確認し、訓練に取り組んでいます。

3月と11月には火災予防週間に伴う広報を各分団が広報を行っており、市内一円で一斉広報活動を行っており、火災予防の啓発に努めています。

10月には大規模災害が発生した場合に隣接消防団の相互の連携強化及び災害発生時の対処能力の向上を目的に、近隣3



春の火災予防運動出発式の様子



檀原神宮



檀原神宮での合同訓練の様子

市による合同訓練を実施しており、日頃の訓練の成果を発揮しております。

また第1から第9分団は、消防団拠点施設である「かしはら安心パーク」で1週間ごとに自主防災組織等への訓練指導や、消防ポンプ自動車の点検や各種訓練、礼式などの自主訓練などを行っています。今後も地域防災力向上にむけて、市民が防災に関する技能を習得できるように寄与していきます。

4 女性消防団の活動

女性消防団は平成8年10月1日に檀原市消防団第10分団として設立され、現在30名の団員が所属しています。

設立以来、第10分団は自主防災組織への指導育成、地域防災力向上に努めています。

「かしはら安心パーク」では市民が消防・防災・防犯などについて学び習得・体験できる講座を行っております。

この施設の完成以降、第10分団はこの施設を利用する自主防災組織に対し、救命処置訓練を行っています。

また、消防団員の自己啓発のため、救命講習の内容についても最新の情報を取り入れることを目的とし、檀原消防署の

講習を受けることで、知識の習得向上に取り組んでおり、その得た知識を即座に救命処置訓練に取り入れ、自主防災組織へも最新の情報を提供しています。

自主防災組織への講習を行うことで、檀原市消防団と地域住民の関係性が近くなり、身近に感じてもらえるようになります。分団長を筆頭に、女性消防団と地域住民が身近な関係になれば、災害が起こった際に、気軽に頼ってもらえると考えており、今後も継続的に活動を行っていきます。

5 おわりに

消防団は、地域防災力のリーダーとして、地域防災力の充実強化を図るため、災害時に備えた平常時の活動において、自主防災組織だけでなく小学校や中学校、事業所など幅広い年齢層や団体に対する訓練を通して、災害時における知識や技能の習得、防災意識の向上等を図り、消防団の活動内容も広く周知し減災につながる活動を行ってまいります。また、平常時より、消防団と地域住民との関係性を高め、市民に寄り添った消防団活動を今後も行ってまいります。



シンフォニー（秋田県） 「未来のために今」

湯沢市消防団女性部 部長 ^{こん} 今 ^{ともこ} 朋子

はじめに

湯沢市は秋田県の南東部に位置し、秋田県の南の玄関口となっています。たくさん温泉地に名水といえるおいしい水から作られるお酒、独特の風土から生まれた郷土料理や伝統工芸の数々。そして平安時代の女流歌人である小野小町生誕の地として伝えられる秋田美人の郷でもあります。春夏秋冬、地域色豊かな祭りもあり、豊かな自然に育まれた文化を持つ、人口約4万人の市です。

湯沢市消防団では、平成21年に初めて女性団員が入団し、平成30年には「女性部」が結成されました。現在は20名の女性部員が日々活動を行っています。

湯沢市消防団女性部では、結成以来地域の幼稚園などでの防災講話の実施や行

事・大会での支援活動、災害現場での後方支援活動などを主に行っているほか、他市町村の消防団との交流による意見交換や消防学校への入校により消防団員としての知識や意識の向上をはかるなど、積極的に活動を行っています。

日頃の活動について

幼稚園などでの防災講話については、さまざまな災害に関するクイズや紙芝居、実際に園児たちと一緒に体を動かして説明を行うなど、よりこどもたちに興味を持ってもらえるよう工夫しながら実践しています。こどもたちも大きな声で喜んだり、驚いたり、少し怖がったり、いきいきと学んでくれています。

防災講話の終わりには「おうちに帰った



防災教室1



防災教室2



訓練大会様子

ら、今日はこんなことをしたよ！とうちのの人にも話してあげてね」と声かけをしており、元気に「わかりました！」と声が高返ってくるのを聞いた時に、ひとりから家庭に、家庭から地域にと、防災意識が高まってくれればと願っています。

今後の活動について

私自身、自然災害で被災した経験があり、「ひとりでも災害でつらい思いをする人、嫌な思いをする人が減ってほしい」と思い日々試行錯誤しながら活動に臨んでいます。

近年、これまで過去数十年考えられなかったような災害が、過去に起こったことのない場所で発生することが多く、山林を多く有し、市内全域が特別豪雪地帯に指定されている湯沢市に暮らす私たちも、いつ被災してもおかしくはないという状況にあるとひしひしと感じます。

また、新型コロナウイルス感染症の流行やインバウンドによる外国人旅行者の

増加など、これまでの防災・減災・災害対策のありかたを再検討する必要があるのではないか考えさせられた時期もありました。消防団員としての活動についても、その例外ではないと感じます。

防災・減災・災害対応について「消防団員として」、「地域の一員として」、「家族の一員として」、「私自身が」、さまざまな角度から考えてみると、私はどの角度から同じ答えにたどり着きました。“未来のために今”。大きなことはできなくても、今できる小さな一歩を踏み出してみる。

コロナ禍を経て変わったことも多く、今まで通りではなくなったことも少なくありません。新しい何かを始めることもこれまでのものを続けることも変わり続ける時代の中では同じくらいに大変な「一歩」だと思います。

自分を、家族を、地域を守っていけるよう、団員同士手を取り合い、これからも活動を頑張りたいと思います。

第30回全国消防操法大会記念Tシャツ

受付期間: 2024年10月31日(木)まで

BACK



ネイビー



右袖デザイン

宮城県の代表的な「伊達政宗公騎馬像」を中央に据え、政宗公の旗印「白地赤日の丸旗」をモチーフとして、ホースを模した円の中に消防団章と宮城県を含み、宮城県における消防操法大会をイメージさせるデザインとしました。

FRONT



左袖デザイン



左胸デザイン

吸汗
速乾

BACK

グリーン

FRONT



2,200円(税込)

汗を素早く発散し吸汗速乾性に優れ、ふんわりとした素材で、着心地が良く優しい肌触りのドライTシャツ。

表地

裏地

〔カラー〕ネイビー、グリーン
〔サイズ〕S、M、L、LL、3L
〔素材〕ポリエステル

Tシャツサイズ表

cm	S	M	L	LL	3L
身幅	47	50	53	56	60
着丈	65	68	71	74	77

ご注文は
こちら

●お問い合わせ／(公財)日本消防協会 総務部

TEL 03-6263-9497

ご注文は **RISE** 株式会社ライズ

右記のQRコードまたは下記のURLにアクセス!!

<https://rise-nippon.shop-pro.jp/?mode=cate&cbid=2489499&csid=6>



小学生への消防団の活動紹介

福岡県 豊前市消防団

まず初めに、なぜ小学校の出前授業に参加することになったのか。

きっかけとして、私の身内が小学校に在学しており、その当時の教頭先生と学年担任から話があり消防団の団員から直接話ができないかという内容でした。

消防団としても、広報活動と消防団員数の減少対策をどのようにしていくかという課題があります。そこで消防団本部役員と協議した結果、出前授業に参加することが良いきっかけになるのではないかとすることで、令和3年から小学3年生を対象に消防団の活動内容及び防災について出前授業をすることになりました。

どうして小学3年生を対象にしたのかというと、小学3年生の授業で消防団についての授業があり、その授業を消防団の団員にお願いしたいといった学校側の依頼で2コマを使って出前授業を行いました。

出前授業の内容としては、消防団の歴史や、小学生でも理解できる防災(火災・水害・地震)についての話をしています。火災が発生したときの避難方法や消火器の取り扱いなど、災害が起きたときにどのように行動するのが良いか、またどのように行動したら自分自身を守るかを生徒たちに話しています。

また、屋外の授業では、簡単なロープの結び方4種類の実地訓練や水消火器の放水体験、小型可搬ポンプもしくは消防車を使用した放水体験をしています。

今までは、直接消防団員の話を聴く機会がなかったので、小学生にとってこの出前授業は良い機会だと好評をいただいています。

私たちも地域の小学校に出前授業に行くことで、子どもたちとの距離感が近くなり、地域の消防団にあこがれを抱いてくれる子どもたちが出てきていると実感しています。

出前授業だけでなく、各団体や地域の集まり等においても消防・防災について講演依頼があれば講演を行っています。

豊前市消防団の今後の考え方として、近年は、全国的に消防団員数の減少が顕著であり、少しでも減少の歯止めになればと思っています。また、将来を見据えて、子供たちが消防団に入って活動をしたいと思うきっかけを作ることが大事だと考えています。

今後の活動としては、市内の学校すべてに出前授業をおこなっていき、各団体での講演を増やして、火災・防災の意識を地域全体で高めていく活動をし、消防団及び防災についての理解を深めていただきたいと考えています。



出前授業の様子



未来の消防団員へ地域防災教育及び加入促進 ～子どもたちを中心に～

兵庫県 福崎町消防団

1 はじめに

福崎町は人口2万人弱ではありますが、団員定数である600名の充足率100%を30年以上も継続し続けており、平均年齢も約33才と全国的にも比較的若い団員で構成している。しかしながら、近年、団員確保に苦慮しており、その理由として地元地域からの人の流出が考えられる。

子どもたちにとって身近な地域の大人が消防団員として活躍している姿を見てもらうことにより、消防団をより一層身近に感じ、防火・防災に役立てて貰おうと、小学校と消防団が長年にわたり合同防災訓練等積極的に連携をしている。これに加え近年は、心肺蘇生法等の普及にも力を入れ、住民の安全安心に寄与している。また、地域防災力として若い団員確保に向けて幼い時から消防団の大切さや重要性等の意識を持ってもらい、大人になったときに一人でも多く消防団に入団してもらえるよう加入促進にも力を入れている。

2 活動の内容

(1) 合同防災訓練

地元小学校において、学校の避難訓練終了後に消防団実践的放水訓練の実演や児童による放水体験、消防団からの講話、車両見学等を全校児童対象に実施している。平日の日中で団員にとっては非常にに出にくい時間帯ではあるが、団員は地域の子どもたちのためにと多くの団員が毎年参加してくれている。



ドローンからの映像をお楽しみください(合同防災訓練)

(2) 消防団見学

3年生児童を学校の近隣にある分団の消防車庫に招き、消防団や地元自治会役員(消防団OB)から消防団の役割や意義、体験談の説明をしている。また、車両や資機材、装備品に触れてもらい、児童全員に放水体験も行っている。

上記の活動は、団員にとっても消防団員として地域の子どもたちに触れる機会は、『地域に貢献している』と実感を得られる場としてとても重要だと考えている。



恒例の集合写真(消防団見学)



(3)救命講習会

これまでも消防団が心肺蘇生法等を指導することは、自治会毎の訓練等ではあるが、更に幅広く小学生やその保護者、こども園、学校の教職員等に心肺蘇生法やAEDの使い方を講習するなど、消防団の活躍により住民の安全安心に繋げている。



子どもたちに命の大切さを伝えます(授業参観)

3 今後の展望

福崎町消防団は各集落単位に分団を有し、『自分たちの地域は自分たちで守る』という意識が確立している。子どもたちが、集落内の各分団員の実践的放水訓練に触れ、体験してもらうことにより、子どもたちの消防団員への憧れや、親近感を得ることができ、将来の消防団員の加入を期待している。また、児童の保護者である現団員が訓練内で活躍している姿を間近で見てもらうことにより、現団員の社会に貢献しているという意識の醸成も期待できる。何より子どもたちが直接消防団員の活動に触れることにより、地域への愛着が持てる地域づくりが形成されていると確信している。

4 おわりに

田園地域であれ、都市部であれ、消防団員への加入を決める要因の一つは、住んでいる地域への愛着とコミュニティの形成であると考え。地域の子どもたちが直接消防団員の活動に触れることや、団員が子どもたちから羨望されるという関係性が団員の確保や定数の維持につながってくると思う。

福崎町消防団が30年以上にわたり消防団員定数100%を維持しているのは、『自分たちの地域は自分たちで守る』という主体的な郷土愛に基づくものだと思う。近年は団員の働き方が多様となり、団員の確保や訓練、消防団活動も困難になりつつある。いかにして消防団活動が『我が事』であるかを理解し、理解してもらうことが重要である。消防団という枠に囚われず、若い世代における郷土愛の醸成に注力していきたいと思う。

そして、このような取り組みが評価され、令和5年度には防災功労者内閣総理大臣表彰や消防団地域貢献表彰(総務大臣表彰)、防災まちづくり大賞(消防庁長官賞)を受賞した。これからも受賞した賞を糧に地域に根差した活動を引き続き取り組んでいきたいと思う。

交付車両の活用事例

(公財)日本消防協会 福祉部

日本消防協会では、消防団を中核とした地域の総合的な防災力の充実強化を図ることを目的に、防火防災学習や広報活動等に活用できる車両を制作しています。

「消防団防災学習・災害活動車Ⅱ」は、日本宝くじ協会のご支援を得て全国の消防団に交付しています。この車両は、防災訓練等への取組を支援するため、平時は地域住民、子供たち、事業所等の防災学習や防災指導用として活用し、災害時には緊急車両として人員・資機材等の搬送に活用できるものです。

全国の消防団における交付車両の活用事例をご紹介します。



消防団名：秋田県 大仙市消防団(令和5年度交付)	
1 消防団防災学習・災害活動車両を活用した防災訓練等について	
重要水防箇所合同巡視 日 時：令和6年5月21日(火) 場 所：大曲仙北地区(大曲・神岡・西仙北・中仙・協和・南外) 対象者：66名	
2 防災訓練等の内容について	
国・県・市・広域市町村圏組合消防本部の担当者が出水期を迎えるにあたり、大雨や台風による河川の増水に備え、水防体制を確認するため、河川の増水時に危険が予想される水防上特に注意を要する箇所を巡視する。	
3 特記事項(この車両を活用するにあたって工夫したことなど。)	
消防団員の輸送等で活用し、大いに役立った。また、近年は線状降水帯による短時間豪雨の発生など、自然災害が頻発化・激甚化しており、防災・減災に対する意識の向上が図られた。	



消防団名：栃木県 佐野市消防団(令和5年度交付)

1 消防団防災学習・災害活動車両を活用した防災訓練等について

消火技術確認会

日 時：令和6年6月2日(日)

場 所：佐野市戸室町1592-2 KONOIKEグリーンフィールド

対象者：佐野市消防団および佐野市消防本部

2 防災訓練等の内容について

消防団員の基本的消火技術の確認会を行いました。水利と火点のみを指定し、それ以外の指定は無く自ら考えてホース延長・放水を実施しました。その後、消防本部職員が振り返り指導をするなど、更なる消火技術の向上を図りました。

3 特記事項(この車両を活用するにあたって工夫したことなど。)

資機材の搬送及び人員の輸送に大変役に立っています。水消火器、煙体験ハウスなど多くの防災学習資機材があり、町会の防災訓練や消防団行事に有効的に使用することが期待されます。



消防団名：福井県 越前消防団(令和5年度交付)

1 消防団防災学習・災害活動車両を活用した防災訓練等について

消防団対象普通救命講習および災害現場における活動指揮

日 時：令和6年2月3日(土)

場 所：福井県丹生郡越前町 丹生分署

対象者：越前消防団員

2 防災訓練等の内容について

消防団員を対象とした普通救命講習を行い、プロジェクターやAEDトレーナーを使用し、消防団の救急知識向上に活用することができました。

また、災害現場に災害活動車両で団幹部が赴き、消防団の現場指揮を行うためにも活用しています。

3 特記事項(この車両を活用するにあたって工夫したことなど。)

今後も各種訓練や広報活動等に活用していくのはもちろんのこと、消防団出動時の現場指揮車両としても幅広く活用していきます。



消防団名：愛知県 弥富市消防団(令和5年度交付)

1 消防団防災学習・災害活動車両を活用した防災訓練等について

令和6年度弥富市消防団火災活動実践訓練

日 時：令和6年6月23日(日)

場 所：弥富市三ツ又池公園

対象者：弥富市消防団

2 防災訓練等の内容について

弥富市消防団では、各分団相互の連携を図り、管内消防体制の強化を目的として、実践訓練を実施いたしました。

3 特記事項(この車両を活用するにあたって工夫したことなど。)

令和5年度交付いただいた車両は、火災活動実践訓練や防災訓練等で使用しています。今後も消防団出動時の指揮車としての活用や、啓発活動に活用をしていきます。



消防団名：三重県 四日市市消防団(令和5年度交付)

1 消防団防災学習・災害活動車両を活用した防災訓練等について

日 時：令和6年3月13日(水)

場 所：市内保育園

対象者：保育園児約60名

2 防災訓練等の内容について

四日市市消防団では、女性団員で組織された「サルビア分団」が市内の幼稚園、保育園で毎月第2水曜日に大型紙芝居などの防災啓発活動を実施しています。

3 特記事項(この車両を活用するにあたって工夫したことなど。)

大型紙芝居へは5名以上で出向します。資器材も多いことから以前は複数の車に分乗していました。今回の車両交付を受けてからは、全員が1台に乗車することができ、行きの車内では打ち合わせを、帰りは反省会をすることができ、とても効率的に活動ができるようになりました。



消防団名：長崎県 平戸市消防団(令和5年度交付)

1 消防団防災学習・災害活動車両を活用した防災訓練等について

日 時：令和6年6月23日(日)

場 所：平戸市崎方町、度島町

参加機関：平戸市消防本部、平戸市消防団

2 防災訓練等の内容について

有人離島での災害を想定した応援出場の訓練を、本土及び度島町にて実施。車両及び資器材のほとんどを海上輸送とし、それに伴う応援体制の構築を目的として訓練を実施しました。

3 特記事項(この車両を活用するにあたって工夫したことなど。)

災害時出場車両として現場での活用に加え、消防団の訓練時や防災・防火啓発活動に活用することとなりました。今回の訓練では、人員輸送として訓練に参加しました。



令和6年度消防育英奨学生懇談会を開催

(公財)消防育英会

消防育英会では、令和6年7月25日、26日の二日間にわたり、奨学生懇談会を開催しました。昨年度同様に、全国の奨学生(小学生～高校生まで)を対象に募集し、北海道、岩手県、秋田県、福島県、長野県、岐阜県、兵庫県等の7道県の小学1年生から高校1年生までの奨学生22名、保護者13名のほか随行者含めて43名の参加により実施しました。

1日目は、ヤクルト本社ビル6階大会議室に集合し、秋本会長挨拶の後、皆で記念撮影を行いました。

その後、大型バスに乗車して、車窓観光(建設中の日本消防会館、農林水産省、外務省、総務省消防庁、法務省、警視庁、桜田門、皇居二重橋、赤坂離宮迎賓館、学習院初等科、国立競技場、歌舞伎町のゴジラ、東京都庁、東京都庁付近のLOVEのオブジェ、浅草雷門等)をし、東京駅を背景に集合写真を撮りました。

そして、2時間の東京スカイツリー(高さ634メートル)見学へと移動し、高さ450メートルの展望回廊からは、晴れやかな天候のもと関東一円を見渡し、東京スカイツリーが東京の街に落とすシルエットを見下ろすことができました。天候にも恵まれ、また前回に比べ見学時間を30分増やしたので、少し慌ただしかった昨年と違い、お買い物を楽しめ、ポケモンとコラボの東京スカイツリー見学に皆さま大変満足な様子でした。

その後は、バスに戻り、予定時間より早めに到着した宿泊地である東京ディズニーランド近くのホテルに入り、懇親会を開催しました。田中常任参事からは、奨学生懇談会を楽しんでほしいことや日本消防会館14階に慰霊碑が安置され、次回の懇談会は虎ノ門ヒルズ駅が最寄りの駅になることなどの挨拶がありました。そして、参加者代表として奨学生保護者の乾杯の御発声で懇親会が始まりました。



懇談会

ご歓談の間には、1 番のサプライズ！「ファイアーマンズフラ」というハワイの消防士を讃えるハワイアンフラを、青を基調としたホノルル消防のアロハシャツに赤いキャップの衣装で育英会総務部長が男性フラを披露しました。軽快なリズムに合わせ、力強いステップで、最初皆さんは驚いた様子でしたが、じきに手拍子ありとなかなかない良い雰囲気になりました。

2 番目は、おなじみの「アナと雪の女王」の音楽が流れ、観音開きの扉から、エルサに扮した育英会事務局職員が登場しました。プラチナブロンドの髪が輝き、首を取り巻く真珠のネックレスとその揃いのイヤリング、青いドレスのキラキラエルサが、もう 1 名の職員が扮する魔法で白くて大きいオラフを発現させ拍手喝さいでした。その後は皆の参加によるゲーム大会！このふたりを交えた手作りパイプによるトイトイゲームをしました。【このトイトイは、ドイツ語で幸運を意味するおまじないのことばです。これは、各々持っているトイで、ひよこ玉・テニスボールを送り、椅子の上のカップに収めるまでのタイムを競うゲームです。】小学生から高校生までを縦割りに編成したチームで、年長のお兄さんをリーダーに、作戦会議後にチーム一丸となってボールをつなぎ各々タイムを競い合いました。皆、笑顔であふれ活気ある雰囲気で大変盛り上がり、参加者同士の交流が深まっていくのが実感できました。

子供達のタイムの早かったチームから順にエルサの持つ抽選箱からくじを引いてもらい、その番号の景品をオラフが「いいものだよ」と一言添えて、各勝者に渡しました。

次は、大人チームも同じように美しいエルサからくじを引き、やんちゃなオラフから実用的な景品を受け取りました。

最後は、「部長とジャンケンゲーム」で、部長とのジャンケンに勝ち残った小学生一人に優勝賞品として、ディズニー内で使用できるチケットが贈られました。(おめでとうございます！)

大盛況のうちに懇親会は閉会となりましたが、エルサとオラフの記念撮影会もあり、皆さんには大変楽しんでいただきました。

2 日目は、ディズニーリゾートラインに乗車し、「東京ディズニーシー」と「東京ディズニーランド」へ。移動中もワクワクが止まらない参加者たちは車内でも笑顔いっぱいでした。それぞれ希望するパークで、同じ体験を共有し楽しみながら交流を深め大変充実した懇談会を過ごしました。

今年度の消防育英会懇談会は皆様のお陰で、大変素晴らしいものになりましたことに、事務局一同感謝申し上げます。

来年度も実施予定ですのでどうぞよろしくお願いいたします。



東京駅

第24回ヨーロッパ青少年消防オリンピックに日本代表チームが出場 イタリア共和国 ボルゴ・ヴァルスガーナで開催

(公財)日本消防協会 国際部

イタリアで開催された第24回ヨーロッパ青少年消防オリンピックに、4つの少年消防クラブを派遣しました。これは、我が国少年消防クラブの活動の一層の活発化を目指して2009年以来行っているのですが、コロナウイルス問題のため一時中断せざるを得ないことになり、5年振りの派遣でした。

1 ヨーロッパ青少年消防オリンピック概要

- (1) 主催
CTIF(ヨーロッパ中心の国際消防組織、日本も加盟)
- (2) 場所
イタリア共和国
(トランティーノ／ボルゴ・ヴァルスガーナ)
- (3) 派遣期間
令和6年7月19日(金)～29日(月)
(うち大会期間は7月21日(日)～28日(日))
- (4) 参加国
ヨーロッパ21か国及び日本 60チームが参加
- (5) 競技
 - ア 消防障害物競走
ホース延長、放水、ロープ結索等、消防の実技を取り入れた競技
 - イ 400mリレー
筒先をバトンに、高塀越え、ホース・消火器の搬送など消防の様々な要素を取り入れたリレー
- (6) 国際交流イベント
消防競技と並行して行われる国を越えた交流イベント
 - ア お国自慢大会
各国の文化、歴史等を5分以内で表現するプレゼンテーション
 - イ キャンプオリンピック
各国の子供たちとともに約60種類のレクリエーションゲーム



2 派遣少年消防クラブ



埼玉県 三郷市 三郷市少年消防クラブ



東京都 中央区 日本橋消防少年団



兵庫県 神戸市兵庫区 Bosai Jr. 消防団ひょうご



高知県 中土佐町 中土佐ジュニア消防団

3 競技結果

不慣れなヨーロッパ仕様の資器材を使用したこともあり、思うような結果を残すことはできませんでしたが、選手たちが一生懸命取り組む姿に、会場からも多くの温かい拍手と声援が送られました。

参加22か国60チーム中(男女混合チーム41チーム、女子19チーム)

総合順位 JAPAN 1 55位

JAPAN 2 56位

消防障害物競走の様子



400 m リレーの様子





4 「お国自慢」大会 優勝 !!

音楽、ダンス、光の3つの要素を取り入れた「オタ芸(サイリウムダンス)」を披露し、参加22か国中、第1位という快挙を成し遂げました。人気アニメソング(YOASOBI「アイドル」)に合わせて披露した日本独自の「オタ芸(サイリウムダンス)」は、日本のアニメや音楽などのサブカルチャーが広く浸透するヨーロッパの方々からも「So beautiful!!(とても美しい)」、「amazing!!(素晴らしい)」など称賛の言葉を数多くいただき、会場は熱狂に包まれました。



練習の成果を遺憾なく発揮



会場の様子



日本らしく最後はお辞儀であいさつ



記念の優勝盾

5 キャンプオリンピック

各国の子供たちとともに、約60種類のレクリエーションゲームを水や泥にまみれて楽しみました。



6 地元ボランティアの方々との交流

大会会場から車で40分ほどのところにある標高約2,000mの「パナロッタ山」に地元ボランティアの方々の案内のもと山登りに出かけました。山道は整備されていて歩きやすく、ほぼフラットな道のりではありましたが、みんなで励ましあいながら、楽しみながら、無事に目的地に到着することができました。



7 国別展示

国際交流イベントとして、ボルゴ・ヴァルスガーナ市内の中心地に各国の展示ブースが設置され、各国が趣向を凝らしたブースを展開しました。

日本ブースでは、折り紙で作った折り鶴や手裏剣等のプレゼントや、ポストカードに筆で名前を漢字で書いてプレゼントしたりと、日本らしいおもてなしでヨーロッパの方々に喜んでいただくことができました。特に漢字で書かれた自身の名前をヨーロッパの方々が興味深そうに見ている光景がとても印象的でした。

その他にも、「けん玉」や「こま回し」体験なども行い、日本ブースは終始大盛況となり、1,000枚以上用意したうちわや、チラシもあったという間になくなってしまいました。



今回のオリンピック派遣期間、クラブ員はもちろん参加者すべてが大変貴重な経験をさせていただきました。遠くイタリアの地で戸惑うこともありましたが、同行してくださった添乗員さん、現地ガイドさん、通訳さんなど様々な方々にご協力をいただき、充実した日々を過ごすことができました。

地域防災活動等々でクラブ員たちがこのイタリアでの経験を、今後の人生に大いに活かしてくれることを期待します。



日本選手団総勢32人(クラブ員20人、引率者4人、日消職員6人、ガイド通訳2人)

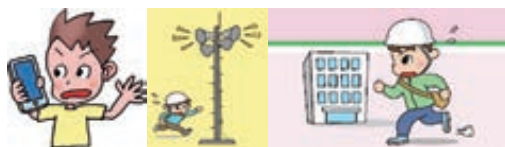
9月1日は防災の日 みんなで防災訓練に参加しましょう！ ～日頃から災害に備え、防災意識の向上をめざす～

総務省消防庁 防災課

国や地方公共団体では、9月1日の「防災の日」や8月30日から9月5日までの「防災週間」、11月5日の「津波防災の日」、8月26日の「火山防災の日」を中心に防災訓練を行いますので、積極的に参加し、「いざ」という時に対応できる力を身につけましょう！

1. 避難場所や避難経路を把握しよう

わが国では、近年、局地的大雨、土砂災害、河川氾濫等による被害が多発しており、その死者は、浸水想定区域などの危険な場所から避難をしなかった方に多く見られます。災害発生時には、防災行政無線や緊急速報メール、SNSなどの多様な手段から情報を入手し、危険な場所にいる場合は、市町村が指定している「指定緊急避難場所」や安全な親戚・知人宅等、災害から逃がれるために適した場所に避難するなどの確かな避難行動をとる必要があります。そのためには、ハザードマップ、防災気象情報や避難情報、避難場所や避難経路の事前把握が重要となります。



防災行政無線や緊急速報メールなどの多様な情報入手手段、また、災害時に避難する場所、そこまでの安全な避難経路を確認しましょう！

2. 防災訓練に参加しましょう

防災訓練に参加し、情報の収集伝達、避難・誘導、初期消火、応急救護、地震体験など実践的な対応を経験することにより、一人ひとりが災害発生時の対応策を身につけることができます。国や地方公共団体では、9月1日の「防災の日」や8月30日から9月5日までの「防災週間」、11月5日の「津波防災の日」、8月26日の「火山防災の日」を中心に防災訓練を行いますので、積極的に参加し、いざという時に対応できる力を身につけましょう。

119番が殺到し、消防車や救急車がすぐに現場に向かえない大規模災害時には、地域住民が互いに協力しながら助け合う必要があります。そのためにも、日頃から防災意識を高め、自分の住んでいる地域で行われる防災訓練に積極的に参加して、地域の方々や家族みんなで防災について話し合ひましょう。

3. 非常持出品の準備をしよう

普段から最小限の非常持出品を用意し、なるべく燃えにくい素材のリュックサックなどに入れておきましょう。

備えておきたい非常持出品としては、非常食品3日分、水、救急用品、ラジオ、衣類、マスク、ウェットティッシュ、タオル、懐中電灯、オムツなどの生活用品、現金、通帳、免許証や健康保険証のコピー、などがあります。また、人によっては、薬を常用されている方は、処方箋などのコピー、赤ちゃんがいる場合は、ミルクやオムツが必要でしょう。

いざというとき持ち出すものを自分自身で考えることが大切です。

4. 消火器・AEDの取扱い方法を学ぼう

消火器を使用した初期消火の成功率は7割を超え、出火時に落ち着いて行動することで大きな被害を防ぐことができます。そのため、消火器の基礎知識や取扱い方法を予め習得しておくことと被害の軽減に繋がります。

心停止状態になってから除細動を開始するまでの時間が1分遅れるごとに、救命率は7～10%低下します。心停止状態になった人を救うためにはすぐに119番通報し、AEDを用いた心肺蘇生法を実施することがとても重要です。



火の根元を狙い、手前からほうきで掃くように消火剤を放射しましょう！

「消防車両等国際援助事業」に係る 更新車両提供のお願い

(公財)日本消防協会 国際部



日本消防協会では国内の消防機関等から更新車両の提供を受け、それらを開発途上国に無償で援助する「消防車両等国際援助事業」を実施しており、開発途上国における消防力の向上や日本の国際貢献に寄与しております。

昭和59年度に事業開始し昨年度末までに46か国1,717台の援助実績を重ね、平成28年度からは外務省のODA資金を活用し、海外での技術援助を行っています。

被援助国の需要拡大に対応するため、更なる更新車両のご提供をお願いします。

1 対象

消防車両等を保有する国内全ての消防本部及び消防団事務局等

2 ご提供いただきたい車両

- (1) 水槽付消防ポンプ自動車
- (2) 消防ポンプ自動車
- (3) 高規格救急自動車
- (4) その他の車両

指令車、水槽車等、海外で有効に活用できるものとします。

なお、化学車はタンク内の消火薬剤を抜き、洗浄した状態での提供をお願いします。

3 ご提供いただけない車両

- (1) 梯子車
- (2) 製造から20年を超える車両
- (3) オイル漏れのある車両
- (4) 修理を要する車両(※)

※1 軽微な修理を要する車両は要相談。

※2 可搬ポンプ等のバッテリー交換については、移送後に当協会で行います。

※3 赤色灯、サイレン等の不具合

4 積載品について

- (1) 消防車両等の積載品(管そう、ホース、三連梯子等)は可能な範囲で積載してください。

なお、水漏れや穴あきがあるホースについては、ご遠慮願います。

- (2) 更新予定の備品（ジェットシューター、エンジンカッター、防火衣等）で使用可能なものがありましたら併せてご提供をお願いします。
- (3) 消火器、空気呼吸器、酸素ボンベ等のボンベ類は、輸出することができませんので、取り外してください。
- (4) 高規格救急自動車をご提供いただく場合、メインストレッチャーの積載は必須となります。
- (5) スタッドレスタイヤ（車両積載のスペアタイヤ除く。）は、お受け取り致しかねますのでご了承ください。

5 ギ装等について

- (1) 廃車後に輸出される車両については、警察への緊急自動車届出確認証の返納に際し、赤色灯の取り外し、消防本部の名称の消去等は必要ありません。
- (2) 広報の一環として、車両表示（消防本部・消防団名称等）を消去しないで寄贈することも可能です。ご希望される場合は、「調査票」にご記入ください。

6 手続き及び費用について

- (1) 廃車及びリサイクル料還付申請において発生する費用については、提供元機関でご負担願います。
- (2) 車両提供後の国内陸送、車両の保守管理等については、当協会が負担します。

7 ODA（リサイクル草の根無償）を活用した車両寄贈について

当協会は従来実施している車両寄贈と併せて、ODA（リサイクル草の根無償）を活用した寄贈に取り組んでいます。

これは、経済的理由から海上輸送費等を捻出できず、寄贈車両の受け入れを断念している国々に対して車両整備費、海上輸送費等を無償で寄贈できる制度です。

この制度では、当協会が車両をプールすることなく、車両整備及び海上輸送等を行うことから、被援助国がODAの申請を行い承認されるまでの間、提供元機関から車両のお引取りができません。そのため、提供元機関に通常3か月から6か月程度の車両保管及び維持管理をお願いすることになります。この制度の活用にご賛同いただき、ご対応いただける機関がございましたら、是非ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

被援助国数

●アジア 13か国

インドネシア、カンボジア、スリランカ、タイ、中国、ネパール、マレーシア、フィリピン、ブータン、ベトナム、モンゴル、ラオス、ミャンマー

●中南米 10か国

アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、コロンビア、ジャマイカ、パラグアイ、ペルー、ホンジュラス、ハイチ、エルサルバドル

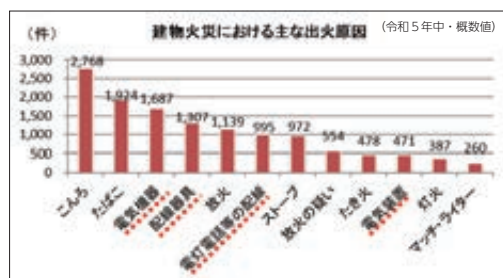
●アフリカ 15か国

エチオピア、ジブチ、スーダン、タンザニア、ジンバブエ、コンゴ、モザンビーク、ガボン、ボツワナ、マラウイ、セネガル、アンゴラ、ベナン、ケニア、ウガンダ

電気器具等の安全な取扱い

総務省消防庁 予防課

電気器具等は日常生活において欠かすことのできないものですが、下グラフのように電気器具等が原因となる火災は多く、使用者の不注意や誤った方法で使用した場合は、火災につながるおそれがあります。



令和5年中の建物火災の件数は、20,968件となっており、そのうち電気器具等(電気機器、配線器具、電灯電話等の配線、電気装置)に起因する火災件数は4,460件で建物火災全体の約21%を占めています。

- ・電気機器：電池類、電化製品、OA機器等
- ・配線器具：スイッチ、安全器、ソケット等
- ・電灯電話等の配線：送電線、配電線、引込線等
- ・電気装置：モーター、コンデンサー、制御盤、燃料電池等

電気器具等を使用する際には、次のことに注意しましょう。

1 点検の実施

扇風機や電気ストーブなどの季節を限定して使用する電気器具等は、毎年使用する前に必ず点検をしましょう。また、使用中に普段と違った音や動きに気づいたときは、すぐに使用を止め、コンセントから差込プラグを抜いて、専門の業者に点検をしてもらいましょう。

2 正しい使用

電気ストーブで洗濯物を乾かしている時に、洗濯物が電気ストーブの上に落ちて火災につながるなど、電気器具等を本来の目的以外で使用すると、意図しない火災につながるおそれがあります。

使用に際しては、取扱説明書をよく読み、その機能を十分に理解して正しく使用しましょう。

3 使用しないときは・・・

アイロンやヘアドライヤーなどは、スイッチを切り忘れたまま放置しておくとならば火災の原因となります。電気器具等を使用しないときは、スイッチを切るだけでなく差込プラグをコンセントから抜きましょう。



使用後はすぐにスイッチを切る！
プラグをコンセントから抜く習慣を！

4 危険なたこ足配線

現在は、数多くの電気機器が使用されています。このため、使用する電気機器に対しコンセントが不足し、たこ足配線になる傾向があります。

コンセント自体が過熱し、火災の原因となるため、コンセントの電気の許容量を超えて使用するたこ足配線は絶対にやめましょう。



たこ足配線はしない！

5 コンセントの清掃

コンセントに差込プラグを長期間差し込んだ状態にしておくと、コンセントと差込プラグの間にほこり等が付着し、付着したほこり等に湿気が帯び、通電することにより火災になることがあります(トラッキング火災)。

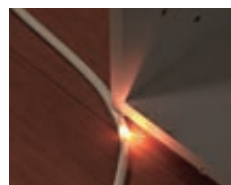
差込プラグに付着したほこり等は、定期的に取り除くようにしましょう。



トラッキング火災に注意！

6 危険な状態のコード

コードを傷んだ状態や重い物が乗った状態、束ねた状態で使用すると、コードが断線や過熱して出火する可能性がありますので大変危険です。傷んだコードは早めに交換し、重い物を乗せての使用や束ねた状態など不適切な状態で使用することはやめましょう。



コードの断線に注意！

【電気器具等の火災を防ぐポイント】

1. 必要に応じて点検を実施する。
2. 電気器具等は、正しく使用する。
3. 使用しないときは、コンセントから抜く。
4. 危険なたこ足配線はしない。
5. 差込プラグに付着したほこり等は取り除く。
6. 傷んだコードは使用しない。
7. コードは不適切な状態で使用しない。

第72回全国消防技術者会議の 開催について(ご案内)

総務省消防庁 消防研究センター

消防研究センターでは、消防に関わる全国の技術者が消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発等の成果を発表するとともに、他の発表者や聴講者と討論を行う「全国消防技術者会議」を毎年開催しています。

今年度は、下記のとおり開催する予定です。詳細については、消防研究センターのホームページでお知らせします。皆様のご参加をお待ちしております。

記

- 1 開催日 令和6年11月21日(木)・11月22日(金)
- 2 場所 三鷹市公会堂 東京都三鷹市野崎1-1-1
※「令和6年度消防防災科学技術賞」の表彰式および受賞者による発表は、消防研究センターのホームページから後日配信する予定です。
※特別講演と第27回消防防災研究講演会の講演につきましては、後日配信いたしません。
※前回の発表動画等は、以下のページからご視聴いただけます。
https://nrifd.fdma.go.jp/public_info/gijutsususha_kaigi/gijutsususha_kaigi_71th/haishin.html
- 3 定員 1日目350人、2日目300人(予定)
- 4 参加費 無料
- 5 内容(予定)
11月21日(木)
■特別講演
・講師：中西 美和 教授 (慶応義塾大学理工学部)
・演題：「安全で効率的な消防活動を実現するためのマネジメントスキル：CRM(Crew Resource Management)」(仮題)
■「令和6年度消防防災科学技術賞」の受賞者による発表
■第27回消防防災研究講演会
・テーマ「令和6年能登半島地震における輪島市大規模火災」
11月22日(金)
■「令和6年度消防防災科学技術賞」の表彰式および受賞者による発表
- 6 プログラム 消防研究センターのホームページ(<https://nrifd.fdma.go.jp/>)をご覧ください。
及び参加申込み
- 7 問い合わせ先 消防庁 消防研究センター 研究企画室
〒182-8508 東京都調布市深大寺東町4-35-3
TEL：0422-44-8331
E-mail:72_gijutsususha@fri.go.jp



「第29回防災まちづくり大賞」の事例募集

総務省消防庁 地域防災室

「防災まちづくり大賞」は、地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組や、防災・減災、防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施しています。

阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設され、29回目となる本年度は、令和6年9月18日(水)までの間、取組事例を募集します。

【応募団体・組織】

- 防災対策に関するハード面の取組を実施している団体・組織
- 防災対策に関するソフト面の取組を実施している団体・組織
- 防災対策に関する人材育成等の取組を実施している団体・組織
- 防災対策に関する普及啓発や情報発信等の取組を実施している団体・組織
- 地域における防火対策を通じて災害や火災に強いまちづくりを推進している団体・組織

【応募方法】

- 各都道府県から該当する事例の推薦
 - 上記【応募団体・組織】に該当する団体・組織による自薦
- ※ いずれも受付事務局に応募書類を提出

【応募期間】

令和6年7月3日(水)～同年9月18日(水)

【応募の詳細】

実施要綱、募集要項及び募集チラシを下記「防災まちづくり大賞」ページに掲載しています。過去の受賞一覧や近年の受賞事例も掲載していますので、ご参照ください。

<https://www.fdma.go.jp/mission/bousai/ikusei/ikusei002.html>

【表彰式】

令和7年2月頃に東京都内で開催する予定です。また、受賞された取組は、消防庁ホームページにおいて事例集として掲載し、広く全国に紹介する予定です。



昨年度表彰式の様子



「防災まちづくり大賞」
シンボルマーク



「防災まちづくり大賞」
ホームページへアクセスします



「地域防災力の要として」

秋田県 湯沢市消防団

湯沢市は山形県、宮城県に隣接する秋田県の最南東部に位置し、秋田県の南の玄関口となっています。東方の奥羽山脈、西方の出羽丘陵に囲まれ、それらの山々を源に、南北に貫流する雄物川と、その支流である皆瀬川、役内川沿いに豊かな水田地帯を形成しています。県境付近の西栗駒一帯は、雄大な自然林を有しているほか、豊富な温泉群にも恵まれています。

湯沢市消防団は、平成17年の市町村合併により組織され、現在は団長以下1,401名、団本部、女性部、ほか14分団で構成されています。

少子高齢化により団員数も減少している状況下において、団員確保や組織の機能維持を図るため、機能別団員制度を導入し、現在は92名の団員が豊富な経験や知識をいかしながら活動しております。

また、平常時の防災教育や災害現場での後方支援を行う団員の確保を目的に、平成30年には女性部を結成しており、現在は20名の女性部員が消防訓練大会や消防出初式の運営や、秋田県消防協会湯沢市雄勝郡支部と連携しての郡内小中学校や保育園での防災教室の開催等、災害時の行動について普及啓発などの活動をしています。

自然災害が多様化、頻発化している近年において、地域防災力の核を担う組織として、災害の未然防止、即応体制の確立を図るため、地域に密着しながら、日々の活動・訓練に取り組んでいます。



訓練大会



出初式

うちの

名物団員



湯沢市消防団川連分団 部長

佐藤 泰幸

“人のつながりで磨かれる、熱あふれる美しいまち”、秋田県湯沢市。

湯沢市消防団川連分団・佐藤泰幸部長を紹介します。消防団員歴25年を経過し、火災を含め、各種災害現場において、団員を統率しての活動等、円熟味が増してきた佐藤部長。

実は、佐藤部長は別の一面も持っており、流木アート作家としても大活躍されています。昨年末、市役所本庁舎に飾られた、「竜」のオブジェは、全長7メートル、高さ2.5メートル。

県内の海岸に流れ着いた流木、およそ110のパーツで構成された壮大なもの。来庁者が足を止めずにはいられないほど、大いに楽しませてくれました。

地域の防災リーダーとして、そしてものづくり、人づくりに奔走される佐藤部長の今後ますますの活躍に目が離せません。



身延町消防団 中富第一分団 部員

望月 敬哲

身延町消防団からは、望月敬哲さんを紹介します。

望月団員は、平成22年4月に入団し、長年地域の安心・安全を守るために消防団活動に尽力しています。昨年度においては分団長を経験し、団員の先頭に立ち、活動に当たりました。台風接近時には、真っ先に警戒に当たり、春と秋に実施する火災予防巡回では、念入りを行うことで住民の意識も高まりました。これらの積極的な活動により、分団長就任期間中、管轄地区内において、大きな火災および被害はありませんでした。

望月団員は、管轄地区内で「やおや身延西嶋店」を運営し、野菜や果物を中心に販売しています。地域に根差したお店であり、老若男女が立ち寄る人気の八百屋となっています。地域の安心・安全と食卓を支える、欠かすことのできない「やおや身延西嶋店」は、インスタグラムもやっていますので、覗いていただけると嬉しいです。



23歳で就職と同時に消防団に入団し、活動を始めて8年目になります。

入団のきっかけは父親が消防団に長年所属していたことと、小さい頃からその姿を見て消防士への憧れを持っていたことでした。普段は県内工業高校の教諭として教壇に立ち、またバスケットボール部の監督として全国大会・近畿大会出場を目指して生徒とともに日々奮闘されています。

休日は、旅行やゴルフ、映画鑑賞などでリフレッシュされています。

今後も消防団員と高校教員の立場から、地域に密着して活躍することを期待します。



松山市消防団の塩田班長を紹介します。

第29回全国消防操法大会のポンプ車の部に初挑戦した経験を生かし、今年の全国大会を目指して、日々訓練に励んでいます。塩田班長の上下動の少ない美しい走りは、大注目です。

また、5月の「北条鹿島まつり」では、「大しめ縄」の張り替えを担当し、その壮観な光景は、多くの方を魅了しています。地域の安全を守り、伝統を次世代に伝えていくために、情熱をもって活動しています。



消防団の広場

鳥取県「守り続けて70年」～レガシーを次世代に～

江府町消防団
団長

遠藤 敏彦



全国消防操法大会優勝

江府町は鳥取県の西部に位置し、中国地方最高峰大山の南麓を形成する自然豊かな山間地で、大山から広がる西日本最大級のブナ林は、極上の天然水「奥大山の水」を生み出し、「水のふるさと」と呼ばれています。

人口は約2,600人で、全国最小県の鳥取県の中でも最少人口の町であり、高齢化率は49%の小さな町です。

江府町消防団は3分団で構成され、団員数は、定員60名に対し約50名の少数精鋭で、町民の安心安全を守っています。昭和30年に発足してから来年で70周年を迎えることになりましたが、発足時から「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識が高く、その気概は常備消防が整備されてからも変わらなく伝承されています。特に消防ポンプ操法に対する取組は熱心で、全国消防ポンプ操法大会では優勝2回・準優勝1回、全国女性消防ポンプ操法では優秀賞2回の栄誉に輝いています。

江府町では、この70年間大きな火災は発生

していませんでしたが、昨年8月の「令和5年8月発生江尾地区大規模火災」は12棟が焼損する大きな火災となりました。時折風向が変化する強風と熱中症警戒アラートが発令される過酷な状況の中、地域住民、自主防災組織等と協力しながら、7時間に及ぶ消火活動を行い、怪我人を出すこともなく鎮火となったことは奇跡といっても過言ではないでしょう。いざという時、勇猛果敢に炎や煙に立ち向かえたのは、引き継がれてきた消防精神と普段のポンプ操法等の訓練のたまものであると感じているところです。この火災での江府町消防団の奮闘と地域住民の活躍を多くの町民が目当たりにし、「自分たちの地域は自分たちで守る」という郷土愛精神を改めて感じたところだと思います。その高まりから「自分も江府町を守りたい」と言って入団してくださる若者が増えてくるよう、そして次の世代へ継承していけるよう、より一層の消防団活動に邁進していきたいと思っています。



女性消防団



土砂災害救助訓練

2024年度 全国統一防火標語

「守りたい 未来があるから 火の用心」

令和6年9月の日本消防協会関係行事

9月14日(土)～15日(日) 全国少年消防クラブ交流大会(兵庫県神戸市)
9月19日(木) 第29回全国女性消防団活性化とちぎ大会(栃木県宇都宮市)
9月24日(火) 臨時理事会(消防育英会)

編集後記

立秋を過ぎ、暦は既に秋。8月11日にパリオリンピックが終わりを迎え、様々な熱い戦いが観られました。続いてパラリンピックが開会し熱い戦いが始まります。季節もパラリンピックもまだまだ暑い(熱い)ですね。皆様はいかがお過ごしでしょうか?イタリアで開催された青少年消防オリンピックに、2019年のスイス大会以来、5年ぶりに日本からも少年消防クラブ員を派遣。また、消防育英会では奨学生懇談会が行われ、子供たちが消防と関わりながら楽しむ姿は大変素晴らしいことだと感じました。消防の取り組みを子供に伝え、防災への関心を高めてもらいたいと思います。(T.I)

今月号より編集を担当することになりましたT.Yです。どうぞよろしく申し上げます。この文章を書いている時点で、オリンピックや日経平均大暴落など大きなニュースが続いていますが、一昔前ならもっと大騒ぎしてもいいような災害級の猛暑や突然の豪雨などが、毎日のように日本のどこかで起こり、もはや日常になってしまっているようです。気象庁によると、今年7月の日本の月平均気温は、統計開始以来最高を更新したそうです。じわじわと変わる日常に慣れることなく、新しい情報や経験を受け止め、判断することが大事だと改めて感じます。(T.Y)

購読募集

購読を希望される方は、(公財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料(送料込) 2,508円
(問合せ先) 総務部企画担当 03-6263-9496

寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取り組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受け付けています。 kikou@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第七十七巻第八号
令和六年八月五日印刷
令和六年八月十日発行

編集人 米澤 健

発行所 (公財)日本消防協会

東京都港区虎ノ門二丁目九番十六

電話 〇三(6263)九四〇一(代)

印刷所

東京都中央区銀座七丁目一六―二二

株式会社アイネット

電話 〇三(3549)五六〇〇

消防人の 火災共済

風水雪害等共済金

補償倍率UP

300倍から750倍へ

**消防団員
消防職員
なれどなたでも
加入できます**

まさかの時お役に立ちます。

地震等災害見舞金付

掛金25口、2,500円 (56%以上の焼損)
火災共済金375万円のお支払い

1500倍補償

B型火災共済

消防団
消防本部

毎に皆で加入

掛金は、5口500円から5口毎、25口2,500円まで選択できます。

落雷の損害
にも対応!!

建物と動産の配分は常に4:1とする契約となります。

お申し込みは、所属の消防団担当から都道府県支部（消防協会）へ。



ひまわりしているか
ひのようじん

お支払
対象

- 火災共済金 火災・落雷・爆発・破裂
- 風水雪害等共済金 風災・水災・雪災・車両飛び込み・航空機墜落等
- 地震等災害見舞金 地震・津波・噴火

生活協同組合 全日本消防人共済会 TEL 03-6263-9822

詳しくはホームページをご覧ください <http://www.shouboujin.or.jp/>

消防団員・消防職員だからこそ加入できる

消防個人年金

積立金には予定利率（年1.25％）、配当率が適用されます。

老後生活に向けた
計画的な財産形成
が可能です。

月払の場合、
毎月一万円（ゆうちょ
銀行は五千元）から
ご加入いただけます。

給付金の受取りは、
年金（6種類）又は
一時金からご選択
いただけます。

途中で脱退しても、
積立金（脱退一時金）
が受け取れます。

税制適格コースは
個人年金保険料控除
自由選択コースは
一般の生命保険料控除
の対象となります。

消防団員、消防職員
の退団・退職後も
継続できます。

（パンフレット・加入申込書のお取り寄せ、お問い合わせ先）

公益財団法人 日本消防協会 年金共済部

0120-658-494 平日 9:00～17:00

お問い合わせ先

各市町村の消防事務担当者または消防本部消防団事務担当者、都道府県消防協会

（公財）日本消防協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目9番16号
TEL.(03)6263-9401（代表）
<https://www.nissho.or.jp>